

社内報 つばさ

目指す企業の姿（企業ビジョン）

多様な個性が輝きあう 働くことが喜びにつながる会社

心と身体が安定し、豊かな生活を実現する。個性を活かし、能力と人格を高め、社会に貢献する。

- ごあいさつ -

弊社事業と障がい者雇用推進などへいつもご指導ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

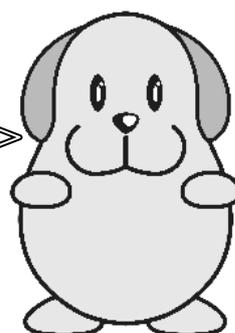
設立 70 周年（昨年 8 月 29 日）を期に、幾多の市場・経営環境の変動下、製品に必要な部品生産や事業経営に創意工夫を重ねた創業時の使命を継承し、障がい者雇用への貢献を念頭に、事業に従事してまいる所存です。今後とも、ご指導ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

社会のオンライン・在宅勤務もふまえ、全員一致協力して、用途拡大のレザチップ加工生産、液晶/複合機の補修、電子保存、入力、メール室、清掃、キャリア教育などの事業へ取り組んでまいります。

弊社の近況・活動の詳細につきまして、以下各項にてご説明申し上げます。

シャープ特選工業株式会社

設立 70 周年を期に、
つばさをリニューアルしました！！
これからも、従業員の活躍を
お伝えしてまいります。



永年勤続表彰

2020年10月13日（火）に、一般社団法人大阪府雇用開発協会主催の「令和2年度 高年齢者・障害者雇用関係表彰式」にて、弊社の清水春夫さんが永年勤続を表彰されました。

今回の表彰について清水さんに聞きました



◎入社されて何年になりますか？

1993年8月に入社し、勤続27年が経過しました。

◎今のお仕事は？

シフト勤務の夜勤で、電子部品検査装置のオペレーターをやっております。

◎表彰されたご感想は？

これまで色々な仕事を経験させていただきました。新人の頃は、ポカミスとクレームで迷惑をかけたこともありましたが、改善を重ね学んで、今ではレーザチップ検査装置の操作などを、後輩に教える立場になりました。これからも会社に役立てるように頑張っていきたいと思います。



表彰状を持って記念撮影



チップ投入作業中の清水さん

無災害記録証 第四類を授与されました

令和2年9月29日に、大阪労働局より「無災害記録証第四類」を授与されました。平成21年3月26日から令和2年6月15日にわたり、4100日間無災害であったことの証となるもので、今回の授与を通過点とし、初心にかえり一層、安全面に留意するよう、全員が安全対策の取り組みを遂行してまいります。

安全衛生委員会での安全対策取り組み

- ・ 自部門や共有場所のパトロールを実施
- ・ 危険箇所の改善と除去
- ・ 社用車の運転管理実施、講習
- ・ 月1回、改善報告や自部門で発生したヒヤリハットを共有し災害防止



今後も、皆が働きやすい職場を築き、令和7年には、「無災害記録証第五類」（6100日間無災害）を授与されるように、安全管理に努めてまいります。

※無災害記録・・・休業災害（通勤災害を除く）が発生した日の翌日から起算して、一定期間無災害であれば、無災害記録の期間に則した「第一類」～「第五類」までの無災害記録証が授与されます。

ここでいう「休業災害」とは丸1日以上休業した場合をいい、派遣労働者による休業災害も含まれます。なお、不休業災害は含みませんが、不休業災害であっても、身体障がい（後遺障がい）が伴うものは含まれます。

業務紹介「オンライン出前授業」

シャープ特選工業には、毎年、約 600 名の方が職場見学に来られ、約 160 名の方が職場体験実習をされます。実習生さんがいつも職場にいる光景が、シャープ特選工業の日常です。これに加え、全国の支援学校約 30 校に出前授業を実施しており、日々、社員が講師として飛び回っています。

しかし、2020 年の 3 月末頃からその日常に変化が生じました。感染症対策のため、見学や職場体験実習の日程先送りのご希望が相次ぎ、ふだんは年度初めに申し込みが集中していた出前授業も、実施時期を改めて検討したいとのご連絡が多く寄せられました。各学校では、限られた期間内に例年通りキャリア教育を実施する必要があり苦慮している、という先生方のお声を耳にするようになりました。このような状況の中、教育機関などで障がいのある生徒さんへの就労支援活動を継続したいとの先生方と弊社の同じ思いから、「出前授業をオンラインで実施しよう！」との発案で始まりました。

作成したカリキュラムは、「企業として」伝えることにとどまらず、これまで多くの先生方、生徒さんたちと共に豊富な経験を積んできた「シャープ特選工業だからこそ伝えることができる」カリキュラムにしようと考えました。ひとつは、「働く」ことは、自分はもちろん周囲の人々も幸せにする活動である、ということ伝える「働く価値観」を学ぶ授業。もうひとつは、日々の生活が働く力を養い、就労への準備につながることを、行動レベルの事例を踏まえてお伝えする、「目的意識を持つ」ことについて学ぶ授業。

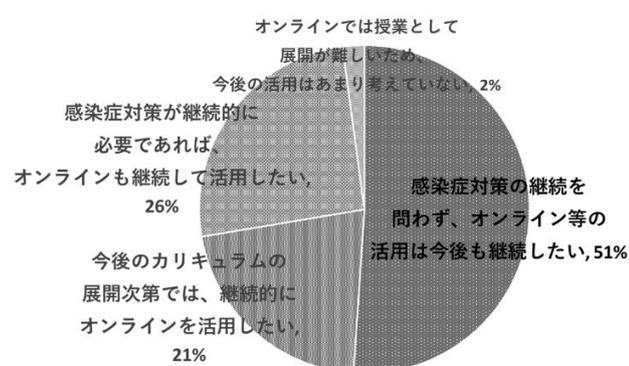
授業は YouTube 限定配信で動画を視聴し、ワークシートを活用して学びを深めます。また、

クラウド型 WEB 会議サービス「TeleOffice」を用いてリアルタイムで生徒さんからのご質問に答えます。生徒さんからのご質問は、動画で見た授業に関することから、社会生活、担当した社員の余暇の過ごし方まで多岐にわたります。質問を受ける時に感じる距離感が、画面を通して、とても近く感じたことが驚きでした。



オンライン出前授業の受講風景

今後の活用方法（複数回答可）



オンライン出前授業アンケート結果

オンライン出前授業は、感染症対策が必要な期間に限定した取り組みですが、今後の取り組みについてのアンケートでは左記のグラフのような結果となりました。また、実際に受講された先生方からは、以下のようなお声をいただきました。

『真剣な表情で話を聞いている生徒の様子を見て、良い刺激を受けていると感じた。』『会社の立場からの実習生の学びやアドバイスは、生徒だけでなく教員の勉強にもなりました。現場実習を来週に控える生徒たちの激励にもなりました。』

これまで出前授業は全国の聴覚支援学校及び大阪府内の支援学校を対象とし実施しておりましたが、オンラインの取り組みでは全国の支援学校へ弊社の出前授業をご案内し、多くの遠方の先生方、生徒さんにつながる事ができたことは大きな喜びです。コロナ禍においても、感染症対策を講じつつ、一人でも多くの障がいのある方の就労の一助となる取り組みを継続してまいります。

業務紹介「八尾サポート課 電子保存業務」

電子保存業務は紙の書類をスキャンして電子データ化し、保管していたスペースの事務所や倉庫などへの転用と共に資料検索の効率化につながります。

現在、弊社の主な電子保存業務は

① 販促データ書類・・・2011年開始

② 行政関係書類・・・2011年開始

ですが、今回新たに

③製品品質関係書類の電子保存業務を八尾事業所で2020年12月より開始しました。



電子保存業務 作業場

立ち上げに至るまで、オフィスソリューション課は、作業手順マニュアル化など支援し、併せてサンプル資料の種類や保管状態などの検証・分析を重ねました。

製品品質関係書類電子保存業務では聴覚・言語・上肢・知的・精神など様々な障がいがあるメンバーが従事しております。業務立ち上げに際しフロアのワックスがけ、窓や空調機の清掃とシャープ製加湿空気清浄機を2台設置し、作業環境づくりを進めていくと共に作業フロー、作業手順のマニュアル化などに取り組みました。



◆製品品質関係書類電子保存業務の作業フロー◆

「①仕分け工程」⇒「②スキャン工程」⇒「③検査工程」⇒「④保存工程」

◆今回、現場の作業者に苦労したことや取り組んだ内容をインタビューしました。◆

仕分け工程では当初、書類とシール台紙を綴じているホッチキスを取る際に、リムーバーという道具を使って外していましたが、合理的な方法を皆で話しあいシール台紙を直接手で外し、作業負担を軽減し、加えて、手順マニュアルを作り、作業統一化し、業務精度を向上しました。



仕分け工程



検査工程

資料に濃淡があり、場合によってはスキャンデータが白化して見えないことがありました。スキャナーの設定を何度も変更して、濃淡の最適な設定値を決めました。

今後も各工程での業務精度向上に取り組んでまいります。